



研究部から



～元気にあいさつ キャリアと心を見がき、 未来を拓く～

本校では令和6年度より、聴覚障害教育に経験豊富な先生である村野一臣先生(元東京都立立川ろう学校長, 現東京学芸大学教職大学院特命教授) から助言をいただきながら、「葛飾ろう学校で育てたい力 ～キャリアと心を見がき、未来を拓く子供を育てるために～」をテーマに、育てたいポイントごとに8つのグループに分かれて全教職員で研究を進めています。

今月号から、各グループの具体的な取り組みを紹介していきます。

研究テーマ (1グループ)

豊かな自己理解ができる子供

○研究の目的

豊かな自己理解ができる子供を育てるためには、幼児・児童・生徒が自分にできること、できないことを知る必要があると考えました。研究を通して、高等部卒業後、社会に出るときに自分に必要なことを考えられる子供を育てていきます。

○具体的な取り組み

職業準備性ピラミッドを基に、各学部段階に合わせたチェックリストを作成しました。また、試作のチェックリストを一部の学年の本人、保護者の皆様、教員に回答を依頼し、回答結果を教員の指導目標の設定に反映させることができました。

○今後の取り組み

幼児・児童・生徒本人、保護者の皆様、教員の回答をまとめたチェックリストの結果を基に課題と指導目標を明確にし、今後の指導に活用していきたいと考えています。

○保護者へのメッセージ

今年度も一部の学年の保護者の皆様にチェックリストの回答をお願いしたいと考えております。お忙しいところ恐れ入りますが、御協力をお願いいたします。

対人スキル	謝罪
幼稚部	身近な大人と一緒に、謝ることができる。
小学部	相手をきずつけたり、めいわくをかけたときは、「ごめんなさい」とあやまることができる。
中学部	相手を傷つけたときや、自分にも良くない面があったとき、素直に非を認め、謝ることができる。
高等部	相手を傷つけたとき、自分が間違えてしまったとき、言い訳をせず素直に非を認め、相手の状況に応じた言葉や態度で謝ることができる。

チェックリストの一例